

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
東静岡駅周辺地区

平成29年3月

静岡県静岡市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	%	①20.1% ②41.1%	①51.0% ②51.0%	①58.7% ②52.2%	確定 見込み ●	○	あり なし	①52.9% ②52.5% (H28年度)	H28年8月	①○ ②○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	①公園整備が完了し、住民の快適空間に対する満足度が向上し、目標達成に繋がった。 ②東静岡駅周辺地区の基盤整備や駐輪場整備が完了したことによる交通環境の向上により、目標達成に繋がった。	
指標2	%	22.1%	51.0%	39.1%	確定 見込み ●	△	あり ● なし	23.0% (H28年度)	H28年8月	△	事後評価時は、一部の事業完了エリアを対象を絞ってアンケート調査を実施し、併せて防災に関する意識啓発事業を実施していたことから、比較的高い評価が得られたが、今回は特に意識啓発事業等のソフト事業がなかったことが差異が生じた原因とも考えられる。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事業実施により、満足度の向上は見られるものの微増にとどまった。アンケート調査での要素分析においては、交通面や治安面に対する満足度が向上している一方で、防災面に対する満足度に大きな変化が見られなかった。防災面は、通常時は実感できないものであることから、ハード整備と併せて、地区住民への防災機能充実度のPRや説明など、ソフト施策の必要性が考えられる。	
指標3	人/日	6,787人/日	6,787人/日	7,483人/日	確定 見込み ●	○	あり なし	7,763人/日 (H26年度値)	H28年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事業完了により、当初懸念されていた駐輪容量不足等の課題が回避され、JR東静岡駅の乗車人員が増加し、目標達成に繋がった。	
指標4					確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を持続させるために行う方策</li> </ul>	持続的なまちづくり体制の構築	・地域主体の組織形成に係る検討は行われなかった。	・具体的な検討は行われなかったものの、地区住民とのコミュニケーションにより、意識醸成の状況把握を進めた。	・地区住民との密なコミュニケーションを図り、必要に応じて組織形成に係る検討を行う。
改善策 <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの目標を達成するための改善策</li> <li>残された課題・新たな課題への対応策</li> <li>その他 必要な改善策</li> </ul>	交通利便性・移動円滑性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス路線、運行ダイヤの見直しを行い、静岡市バス交通計画の策定、フィッシュボーンパターンを形成(静岡市バス交通計画は静岡市交通政策課のホームページに掲載)</li> <li>駐輪場利用促進PRとして、静岡市交通政策課のホームページに駐輪場案内を掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>静岡市バス交通計画の策定、フィッシュボーンパターン形成により、利用者の利便性向上の検討を行った。</li> <li>駅周辺の駐輪場が完成したことと利用促進のPRを行うことにより利用者の増加を図ることが出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、利便性向上の検討及び駐輪場利用に関するPR実施により、交通利便性・移動円滑性の向上を図る。</li> </ul>
	都市機能の強化・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>市有地の利活用方法として、駅北口市有地にローラースポーツ施設の整備を検討(静岡市企画課)</li> <li>既存施設利用促進PRとして、静岡県ホームページにグランシップのページを掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市有地の利活用方法を具体的に検討することが出来た。また、既存施設の利用促進を図ることで都市機能の強化・拡充に貢献することが出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市有地の利活用の実現に向け、さらなる検討を行う。</li> <li>既存施設のさらなる利用促進を図るために、引き続きホームページ等でPRを行う。</li> </ul>
	公園利用者の路上駐車対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ上での路上駐車についての注意喚起</li> </ul> ⇒静岡市公園整備課のホームページに路上駐車禁止について記載	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページだけでなく看板による注意喚起により、路上駐車抑制を図ることが出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きホームページ上や看板等による注意喚起を行う。</li> </ul>

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
防災・防犯意識の向上に向けた取り組み	・防災機能を有する施設(調整池等)へのPR(機能説明)看板等の設置	平成29年度(予定)	継続的な周知を徹底することで、住民への防災意識の向上を図る。

# 都市再生整備計画

ひがししずおかえきしゅうへん  
東静岡駅周辺地区(第2回変更)

しずおか 静岡県 しずおか し 静岡市

平成26年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	しずおか 静岡県	市町村名	しずおか 静岡市	地区名	ひがししずおかえきしゅうへん 東静岡駅周辺地区	面積	50.5 ha
計画期間	平成 23 年度	～	平成 26 年度	交付期間	平成 23 年度	～	平成 26 年度

### 目標

- ・快適で住みやすいまちの実現
- ・安心・安全のまちづくりの推進
- ・利便性の高いにぎわい拠点の形成

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

平成15年4月1日の合併により誕生した「静岡市」は、静岡県の県庁所在地として、政治、経済、文化、教育などの中枢機能が集積する県の中心であるとともに、平成17年に政令指定都市として指定を受け、中部地方の中核を担っている。

その中で東静岡地区は、100万人を超える都市圏の3つの都市核「東静岡・静岡・清水」のひとつとして、国際化・高度情報化などの進展に対応した高次な都市機能を備え、ユニークで魅力ある都市空間を持つ新しい都市拠点の形成を目指している。JR東静岡駅周辺地区は、国道1号をはじめとする幹線道路に囲まれ、JRで南北に分断されており、地区中央部に旧静岡貨物駅跡地、その周囲は倉庫や店舗、事務所、工場、住宅などが混在する地区であった。こうした状況から、平成5年より土地区画整理事業によって道路や公園などの都市基盤の整備を進めている。平成10年にJR東静岡駅、文化施設グランシップが開業し、平成15年7月18日には第3次都市再生緊急整備地域に指定されている。

土地区画整理事業によって土台となる都市基盤が整備されつつある中で、近年、マンション等の都市型住宅が増加傾向にある。今後は、土台の上に、訪れたい、住みたいと思えるようなまちの魅力、付加価値を創出していくことが必要である。現状ではにぎわいや都市機能の集積は十分でなく、また、公園・緑地の整備や道路等のバリアフリー化がまだ実現していない状況にあり、居住環境の充実には十分な余地がある。

#### 課題

##### ■居住環境のさらなる充実

- ・公園・緑地の整備
- ・バリアフリー化の徹底
- ・新駅など交通結節点への近接性を活かした都市型住宅の供給
- ・防災に関する周知・啓発
- ・商業施設の充実

- ・駐輪場の新設・拡充
- ・交通量の増加に伴う渋滞対策及び安全対策
- ・線路を横断するルートの確保(車、歩行者)
- ・バスの利便性向上

##### ■にぎわいの創出・向上

- ・静岡・清水両都心との都市機能の適正分担
- ・都心その他拠点との連携強化・交流
- ・静岡市の新しい顔となる個性の創出
- ・商業施設の充実
- ・継続的なイベントの開催
- ・駅から連続した快適な歩行空間の確保
- ・子供が遊べる、家族で過ごせる公園の充実
- ・駅からの分かりやすいサインの設置
- ・交通量の増加に伴う渋滞対策

#### 将来ビジョン(中長期)

##### ■東静岡副都心 — 新たな文化を発信する創造文化拠点 —

#### (参考)

- ・第2次静岡市総合計画（平成22年3月）
  - ：東静岡副都心—新たな文化を発信する創造文化拠点
  - 静岡、清水、東静岡が特性に応じて都市機能を分担し、都市の個性の発揮とその相乗効果による都市活力を創出する。
- ・静岡市都市計画マスタープラン（平成18年2月）
  - ：東静岡地区は、商業・業務機能の集積に加え、文化、国際交流、情報発信等の高度な都市機能を誘導し、駅前広場や駐車場、シンボルロードの整備により、人々が集い交流するまちづくりを目指す。
- ・静岡市中心市街地活性化基本計画（平成21年3月）
  - ：新市イメージにおける3核の都市空間連携軸を高めるための拠点、また全体の機能連携強化を図るための拠点として、3都心全体の整合を図りながら、適切な機能分担を検討していく。
- ・静岡市都心地区まちづくり戦略(策定中)
  - ：都心との機能的バランスと関係性を図りながら、広域圏あるいは都市全体、都心の魅力・ブランド価値を引き上げるために必要な機能を備えた拠点として、東静岡副都心を位置づける。
- ・都市再生緊急整備地域(第3次指定)（平成15年7月18日）
  - ：静岡市と清水市との合併により誕生した新しい静岡市において、旧両市の中間に位置する東静岡駅周辺地域に、政令指定都市への移行も見据えた、市庁舎を始めとする、静岡の新しい顔にふさわしい中枢となる交流拠点を形成
  - ：市庁舎等行政機能の整備と、国際化等に対応した情報・文化・芸術機能の集積
  - ：併せて商業・業務・居住等の多様な都市機能を導入
- ・東静岡駅周辺地区交通バリアフリー基本構想(平成16年8月)
  - ：県都の新たな拠点として、商業・業務、文化施設等が集積する快適な都市空間の創出を図ることが、地区の魅力を上させまちの発展につながる。
  - ：そのために、高齢者、障害のある方のみならず、市民及び来訪者まで含めたすべての人に、楽しく安全な優先の道筋(経路)づくりをめざす。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
住みやすさに対する住民満足度	%	①公園・緑地などの憩いの場、快適空間に対する満足度(アンケート調査) ②地区内の交通環境、移動利便性に対する満足度(アンケート調査)	住みやすさの向上に対する指標	①20.1%	H22	①51.0%	H26
				②41.1%		②51.0%	
安全性に対する住民満足度	%	安全性(防災)に対する満足度(アンケート調査)	安全性の向上に対する指標	22.1%	H22	51.0%	H26
来街者数	人/日	JR東静岡駅の1日当たりの乗車人員数	地区のにぎわいの創出に対する指標	6,787人/日	H21	6,787人/日	H26

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針1. 快適で住みやすいまちの実現 移動の利便性や都市空間の快適性など、住環境の充実を図り、誰もが住みやすいまちを目指す。  <ul style="list-style-type: none"> <li>✓区画整理の整備効果を高め、都市型住宅の増加にも対応したアメニティの向上</li> <li>✓自転車安全・快適に使える環境の整備</li> </ul> </p>	<p>■公園:東静岡1号公園整備事業 :東静岡3号公園整備事業  <b>■地域生活基盤施設:東静岡駅北口自転車駐車場整備事業</b> :東静岡駅南口自転車駐車場整備事業  <input type="checkbox"/>まちづくり活動推進事業:まちづくり推進事業            ・東静岡駅周辺地区土地区画整理事業(関連事業)            ・東静岡南北幹線橋梁整備事業(関連事業)            ・東静岡駅周辺地区バリアフリー基本構想(関連事業)            ・新急病センター建設事業(関連事業)            ・こころの健康センター整備事業(関連事業)</p>
<p>・整備方針2. 安心・安全のまちづくりの推進 交通安全や災害対策などに取り組み、誰もが安全・安心に生活できるまちを目指す。  <ul style="list-style-type: none"> <li>✓災害対策の推進</li> <li>✓歩きやすく安全な生活道路の整備</li> </ul> </p>	<p>■公園:東静岡1号公園整備事業 :東静岡3号公園整備事業  <b>■地域生活基盤施設:東静岡1号調整池整備事業</b> :東静岡2号調整池整備事業  <input type="checkbox"/>まちづくり活動推進事業:まちづくり推進事業            ・東静岡駅周辺地区土地区画整理事業(関連事業)            ・東静岡駅周辺地区バリアフリー基本構想(関連事業)            ・新急病センター建設事業(関連事業)            ・こころの健康センター整備事業(関連事業)</p>
<p>・整備方針3. 利便性の高いにぎわい拠点の形成 静岡都心地区や清水都心地区、その他地域拠点との交流の活発化を図り、多くの人が行き交うにぎわいのあるまちを目指す。  <ul style="list-style-type: none"> <li>✓交通結節点の機能向上</li> <li>✓誰でも利用しやすく便利な公共交通ネットワークの維持強化</li> </ul> </p>	<p>■地域生活基盤施設:東静岡駅北口自転車駐車場整備事業 :東静岡駅南口自転車駐車場整備事業  <input type="checkbox"/>まちづくり活動推進事業:まちづくり推進事業            ・東静岡駅周辺地区土地区画整理事業(関連事業)            ・東静岡南北幹線橋梁整備事業(関連事業)            ・東静岡駅周辺地区バリアフリー基本構想(関連事業)</p>
<p>その他            &lt;市民参加によるまちづくりの取り組みについて&gt;            ・市民意向が反映されたより良い事業の実施に向け、さらには、市民主体のまちづくり体制の構築に向け、様々な形で市民にアプローチを図っていく。            ⇒<input type="checkbox"/>まちづくり推進事業</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,364	交付限度額	613.8	国費率	0.45
うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	1,364	うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	613.8		
うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	0	うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	0		

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度						
道路														
公園		東静岡1号公園整備事業	静岡市	直	3,500㎡	H23	H25	H23	H25	75	75	75		75
		東静岡3号公園整備事業	静岡市	直	8310㎡	H23	H26	H23	H26	175	175	175		175
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設(駐輪場)		東静岡駅北口自転車駐車場整備事業	静岡市	直	収容台数600台	H24	H25	H24	H25	289	289	289		289
地域生活基盤施設(駐輪場)		東静岡駅南口自転車駐車場整備事業	静岡市	直	収容台数900台	H24	H26	H24	H26	363	363	363		363
地域生活基盤施設(調整池)		東静岡1号調整池整備事業	静岡市	直	3,927㎡	H23	H26	H23	H26	190	190	190		190
地域生活基盤施設(調整池)		東静岡2号調整池整備事業	静岡市	直	6,360㎡	H23	H26	H23	H26	240	240	240		240
高質空間形成施設														
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業		拠点開発型												
		沿道等整備型												
		密集住宅市街地整備型												
		耐震改修促進型												
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,332	1,332	1,332	0	1,332

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載 ※H24以降を記載 ※H24以降分を記載

基幹事業②地域自主戦略交付金

事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度						
道路														
公園														
河川														
下水道		-			-									
合計										0	0	0	0	0

基幹事業 総計(①+②)

総計										1,332	1,332	1,332	0	1,332
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------	-------	-------	---	-------





都市再生整備計画の区域

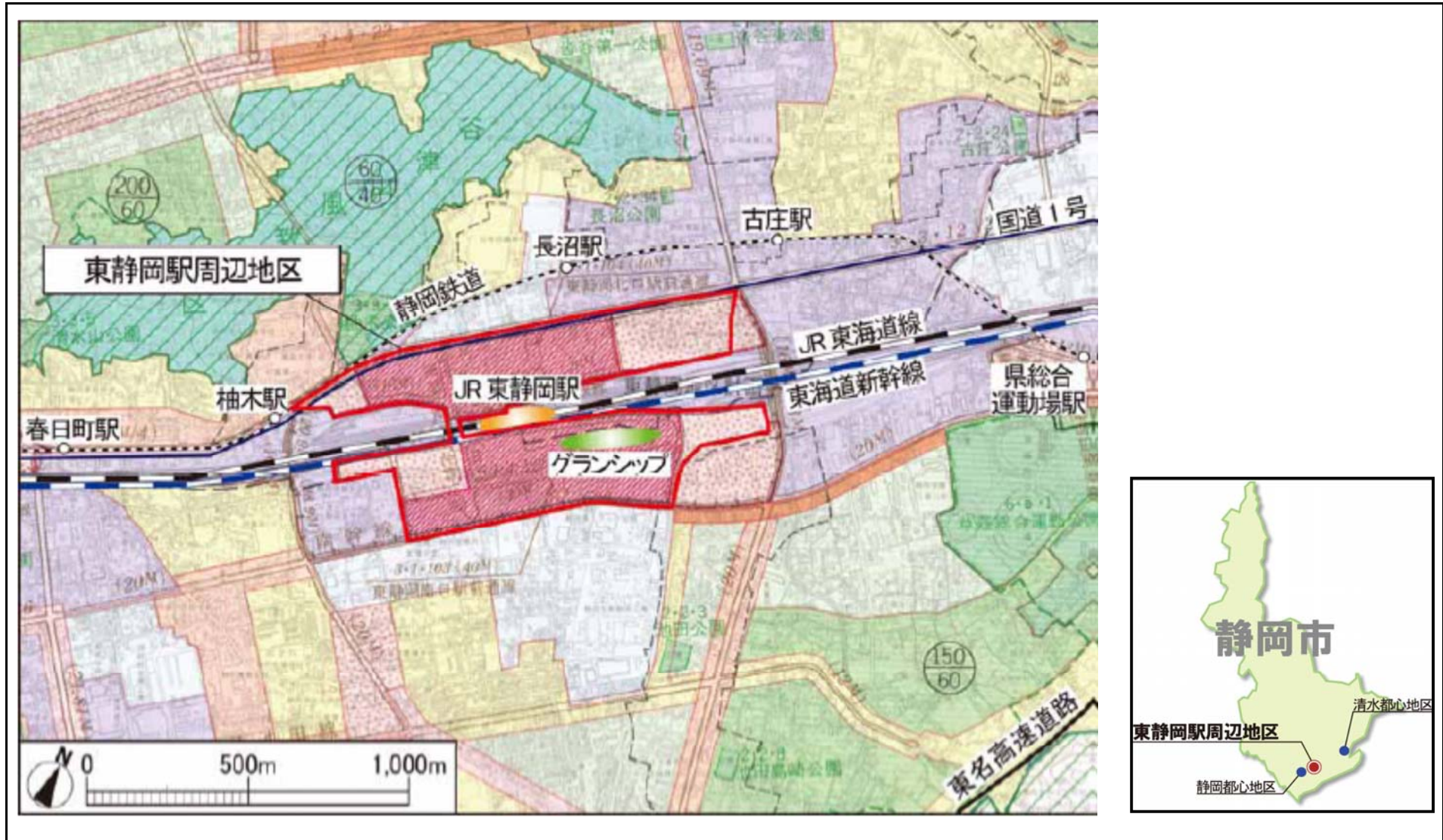
東静岡駅周辺地区(静岡県静岡市)

面積

50.5 ha

区域

葵区:(柚木・長沼)  
駿河区:(曲金6丁目・池田)



# 東静岡駅周辺地区(静岡県静岡市) 整備方針概要図

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適で住みやすいまちの実現</li> <li>・安心・安全のまちづくりの推進</li> <li>・利便性の高いにぎわい拠点の形成</li> </ul>	代表的な指針	住みやすさに対する住民満足度 (%)	①20.1% (H22年度)	→	①51.0% (H26年度)
				②41.1%		②51.0%
			安全性に対する住民満足度 (%)	22.1% (H22年度)	→	51.0% (H26年度)
			来街者数(人)	6,787人/日 (H21年度)	→	6,787人/日 (H26年度)

